

関係者各位

令和2年10月15日
日本学生トライアスロン連合
学生委員長 松原 築

日本学生トライアスロン選手権出場校代表者を対象にしたアンケート結果について

先日、2020年度日本学生トライアスロン選手権大会出場校代表者様を対象にアンケートを実施した為、ご報告致します。また、皆様におかれましては、アンケート実施に当たり、多大なるご尽力を賜りましたこと、日本学生トライアスロン連合を代表し、厚く御礼申し上げます。

【新型コロナウイルス感染症状況下における練習環境に関するアンケート】

実施日：9月24日

実施対象：2020年9月24日現在、日本学生トライアスロン選手権大会出場資格を有する大学・チームの代表者様

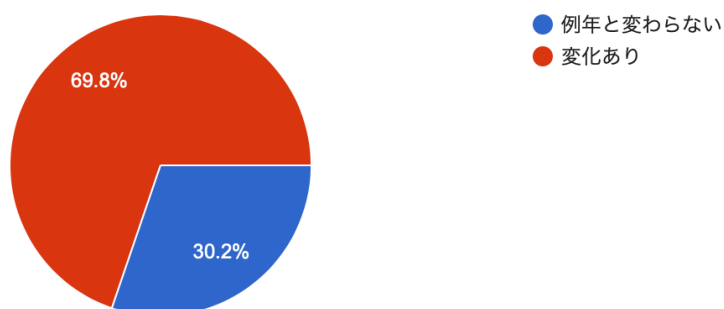
実施目的：2020年度日本学生トライアスロン選手権大会の開催が新型コロナウイルス感染症の中で決まったことにより、該当大会の出場資格を有する大学・チームの練習状況を把握する為。

実施背景：該当大会開催に関する、JTU(日本トライアスロン連合)様との協議の中で、国内のエリートレースが選手たちの練習不足を懸念してスプリントに変更され、距離の短縮を行ったという背景があったことにより、該当大会の参加資格を有する大学・チームの練習環境などの変化について把握する必要があった為。また、場合によっては、選手の安全を最優先に考え、国内のエリートレース同様、距離変更なども検討していた為、アンケートを実施させて頂きました。

実施結果：①スイムの練習環境、時間の変化

スイムの練習環境変化

43 件の回答



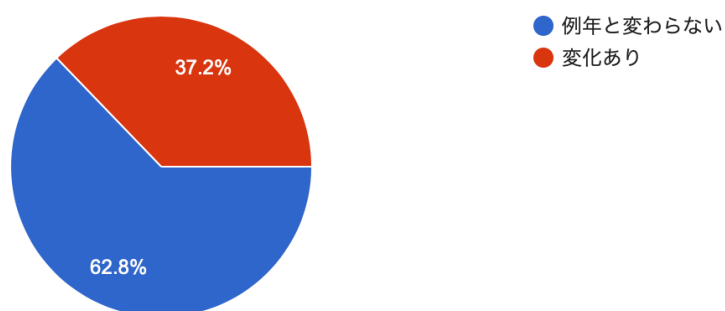
【主な変化ありと答えた大学の回答】

- 3月から8月中旬まで練習ができなかった。現在も大学のプールは使えず、外部のプールで1回1時間半の練習を週2回実施。例年の半分以下。
- 通常なら土日平日を含め1日3~5時間ほど練習していたが、平日のみの1日2時間まで減少。
- 週5回2時間のスイム練習から週3回2時間変わった。9月から昨年通り出来るようになった。
- 例年は週3回2時間程度で、現在は各自に任せている。
- 4月5月はプールが使えなかった。6月から再開したが、時間が限られ、部員によっては、5割~8割程度の練習しかできていない。

実施結果：②バイクの練習環境、時間の変化

バイクの練習環境の変化

43 件の回答



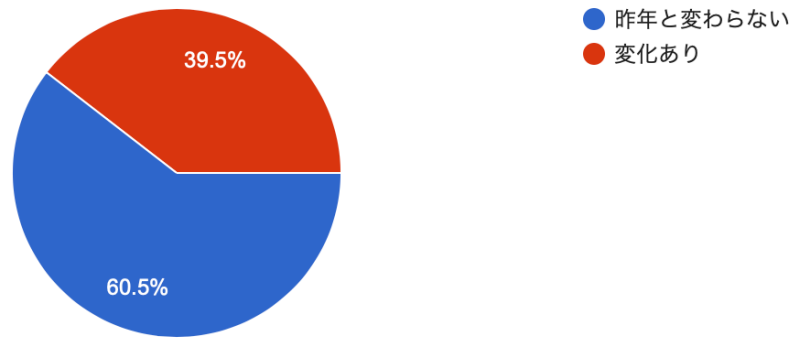
【主な変化ありと答えた大学の回答】

- 参加人数、時間共に今までの半分。
- 3月から8月中旬まで練習ができなかった。現在、3～4に程で例年通りの練習をしている。
- チームとしての練習はなく、個人単位での練習。
- 基本自主練習ではあるが、時間は変化なくできている。チームでは、週 3～4 時間程。
- 7月下旬までは部活停止。現在は人数を制限しながらの練習。
- 実装練習が禁止、現在はローラーを使っでの練習のみ。他種目との兼ね合いもあり、1日 1 時間ほど。

実施結果：③ランの練習環境、時間の変化

ランの練習環境の変化

43 件の回答



【主な変化ありと答えた大学の回答】

- トラックを使用した練習の減少。基本的に自主練習。
- 時間の変化は特になく、練習場所の変化のみ発生した。
- 例年1回1時間半ほどの練習を週に2回していたが、今年は週1回のみ。
- 3月から8月中旬までチーム練習は無し。現在、競技場に入れる人数が制限されているので3~4人で少人数練習をしている。

実施結果を踏まえて

以上の実施結果を踏まえ、練習環境、時間ともに減少した大学・チームがある反面、例年同様、または例年以上に練習を詰めている大学・チームも存在しました。JTU様と学連事務局の協議の結果、総合的に判断して今年度の日本学生トライアスロン選手権大会は例年通りオリンピックディスタンスでのレース開催で問題ないという結論に至りました。

冒頭にも申し上げましたが、当アンケート実施に伴いまして、皆様には多大なるご尽力賜りましたこと、日本学生トライアスロン連合を代表し、厚く御礼申し上げます。